

断面詳細図 1:80

開口部越しに木質構造を表現し  
空間の内外を一体化する

「てらむら歯科」は、大正時代に住宅改造博覧会が開催された大阪府箕面市桜ヶ丘にある。この地区に残る閑静な住宅地としての品格を保守しながら、現代の生活者に親しまれ地域に根付いていく医院づくりを考えた。これからの将来を数十年単位で見た際、これまでの歴史が何えるような、発展性を持った環境のリノベ-

ションを試みている。取得用地は更地だったが、隣接する建物との調和を図るため、周辺に建つ旧来の建築を手掛かりに、切妻に似た家型の西立面を立ち上げた。そして、モダニズムを想起させるような、丘陵に沿って弧を描いて流れる屋根を東立面に向けて設けている。建物の形態は、抽象化されてその意味を消す。外壁は、白石灰モルタルと板貼りという自然素材で親しみを与え、桜並木に対して白いキャンバスとなり、街の緑や人々の生

活の背景となることを意図した。北側の道路沿いでは、保全しづらい環境を踏まえ、足元に緑を配した。歩行者の目線のレベルにあたる1階部分では、建築を支える木質構造を見せるため、高透過ガラスを使用。緑の被率を植栽によって高めるのではなく、この建築空間そのものが外部の桜並木を引き立てるような、内部空間と外部空間が一体となる計画を目指した。(平沼孝啓)



上/壁面に沿ってトップライトを設けた診療室を階段方向に見通す。天然木で構成した待合に対して、白を基調色とした空間に仕上げている 下/2階院長コーナーからデッキテラス方向を見る。2階の床面の高さは、隣家の軒先の高さを踏まえて決定した

data

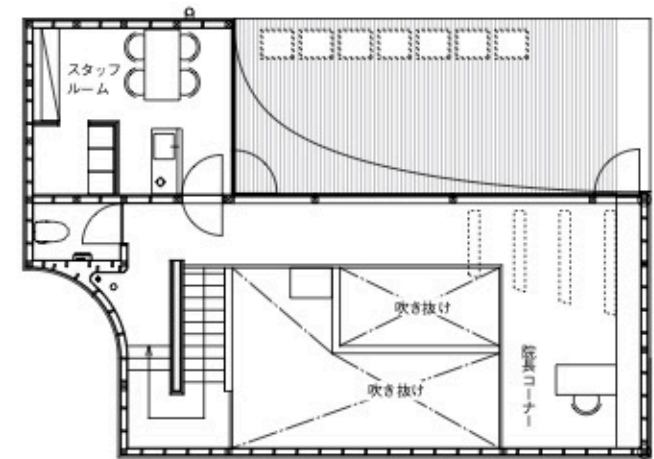
所在地：大阪府箕面市桜ヶ丘2丁目4-20  
 工事種別：一戸建て 新築  
 用途地域地区：第2種中高層住居専用地域  
 建ぺい率：実効62.40% < 制限70%  
 容積率：実効92.50% < 制限200%  
 構造と規模：木造 地上2階建て  
 敷地面積：155.92㎡  
 建築面積：97.29㎡  
 床面積：144.23㎡ / 1階95.97㎡ 2階48.26㎡  
 工期：2013年10月～2014年6月  
 設計協力：構造計画 / 福山正弘 機械設備 / 見並弘一  
 電気設備 / 河添成夫 カーテン / 須藤玲子  
 施工：西村建築工房  
 施工協力：電気・音響設備・照明器具 / 栗林電気商会 給排水衛生設備 / 樋口設備

診療内容

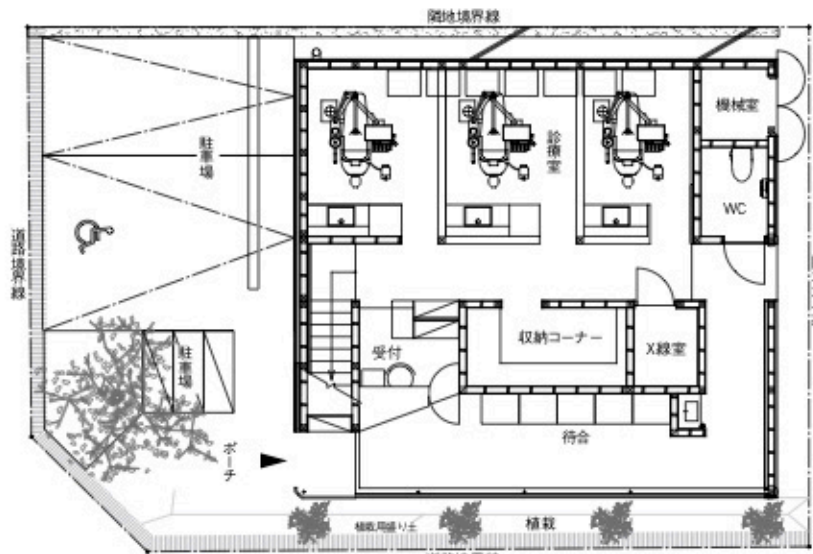
開院：2014年7月1日  
 診療時間：午前9時30分～午後0時30分 午後2時30分～午後7時(土曜日のみ午後0時30分まで)  
 休診日：日曜日、祝日 電話：(072)720-7887  
 院長：寺村 重 医療従事者数：7人 診療台数：3台  
 診療科目：歯科 インプラント 審美歯科 予防歯科 養歯

主な仕上げ材料

屋根・外壁：ラスモルタル(石灰入り)t30下地断熱塗料塗布の上電製自閉性FRP防水t2.5+非水分散型アクリル樹脂塗料吹き付け 開口部/スチールサッシ焼き付け塗装  
 床：1階/土間コンクリート下地石灰コンクリート金ゴテ押さえ 2階/MDf12下地フェルトt20の上カーペットt10クリッパー敷き  
 壁：MDf19下地天然木板t6本実貼りの上木質ワックスクリア生地塗布 天然木杉板実材t9、12ランダム貼り木軸組みPBt12.5下地寒冷紗パテシゴキの上塩化ビニル樹脂エナメルローラー塗装  
 天井：1階/木軸組みPBt9.5下地寒冷紗パテシゴキの上塩化ビニル樹脂エナメルローラー塗装 2階/天然木小屋根組の上木質ワックスクリア生地塗布  
 医療機器：診療台(イオムレガロ/ジーシー)



2F PLAN



1F PLAN 1:150